

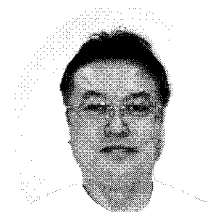
ほすぴたる

春号第3号

2004.5



出石福祉ゾーン



「出石ホスピタウン」

公立出石病院 病院長 倉橋卓男

公立出石病院は、地域密着型のベット数55床の一般病院です。高度先進医療や救急救命医療を追求・担当する豊岡病院とは役割がおのずと異なり、疾病の治療のみならず、予防としての保健事業、介護福祉のバックアップ施設として地域の中核的役割を果たさねばならないと考えています。

「ホスピタウン」という呼び名は、約15年前に某医療雑誌が提唱した高齢化社会に対応した未来都市を表した造語です。「病院を核にして、利用者の地域の生活・居住環境を考えつつ、医療のみならず疾病予防と介護を総合的（包括的）に提供する保健・医療・介護福祉都市」のことです。退院後から在宅治療までの途切れることのない医療サービス提供を目指したいと考え、出石町の福住（福が住んでいる）地区に保健・医療・福祉の関連施設が寄り集まっています。

これらの施設面の整備等に加えて重要なことは、それを動かすスタッフの力の充実です。国の医療・保健・福祉制度の動向や身近な問題となっている医師の確保など難しい課題を抱えておりますが、これからも地域の皆様から愛され信頼される病院となるよう頑張っております。

乳癌の診断・治療のために

日高病院外科

乳癌の疫学

1994年以来、我が国における乳癌は壮年期（30～60歳）女性の死亡数のトップです。胃癌や子宮癌が減少しつつあるのに反し、乳癌は徐々に増加してきています。特に、罹患率は40歳代でピークを示し、死亡率は50歳代にもっとも多くなっています。

乳癌の危険因子

乳癌の危険因子は、肥満、未婚、高齢出産、母と姉妹の乳癌歴、長期のホルモン剤服用歴などが挙げられます。

早期発見の必要性

乳癌も他の癌と同様、早期発見・早期治療によって救命率が高くなります。ご自身で乳房のしこりを見つけることがベストですが、市町の乳癌検診は是非受診してください。

早期発見のための検査

視診・触診

まず視診。皮膚の色調変化、発赤、陥没がないかを診ます。次に触診。しこりがあるかどうか乳房を触って調べます。



超音波診断法 (US)

“欧米人の大きな乳房にはMMGが適しているが、日本人の場合にはUSの方が有用である”との意見も多くみられます。癌組織での超音波の減衰が周囲の乳腺組織に比べ大きいので見逃しやすいことも問題ですが、熟練の程度によってその正診率はかなり違ってきます。

マンモグラフィー (MMG)

厚生労働省でもその有用性が認識され、本院ではその装置を導入して診断に役立てています。腫瘤像、石灰化像、構築の乱れなどを見つけるものです。ただし、石灰化像が認められるのは、乳癌全体の約半数といわれており、MMGだけでは完璧に乳癌を診断できません。

サーモグラフィー

乳癌の皮膚温が他のところよりも高いことを利用して診断する方法ですが、管理上の精度によって微妙に診断率が変わってくることや炎症によっても偽陽性に描出されることも多く、補助的診断法になるでしょう。

磁気共鳴画像 (MRI)

現時点では、あまり有用とは言えず、今後の研究が待たれる段階です。どこの病院でもできるものではありません。(本院では行っていません)

異常が見つかった場合

- ◎乳頭からの異常分泌がある場合は、細胞診、分泌液のCEA（癌検査の1つ）の測定、乳管造影、内視鏡を行う場合もあります。
- ◎腫瘍の場合は、穿刺、吸引細胞診を行う。通常は局所麻酔をしてエコー下に小さな針を刺して組織を調べる方法です。

乳癌と診断されると手術になります

◎手術の方法

乳房温存手術（小さな乳癌の場合）、乳房切除術などがありますが、最近ではなるべく胸の筋肉を残す方法が定型手術となっています。

◎術後治療には

ホルモン内分泌療法、化学療法、放射線療法などがあります。

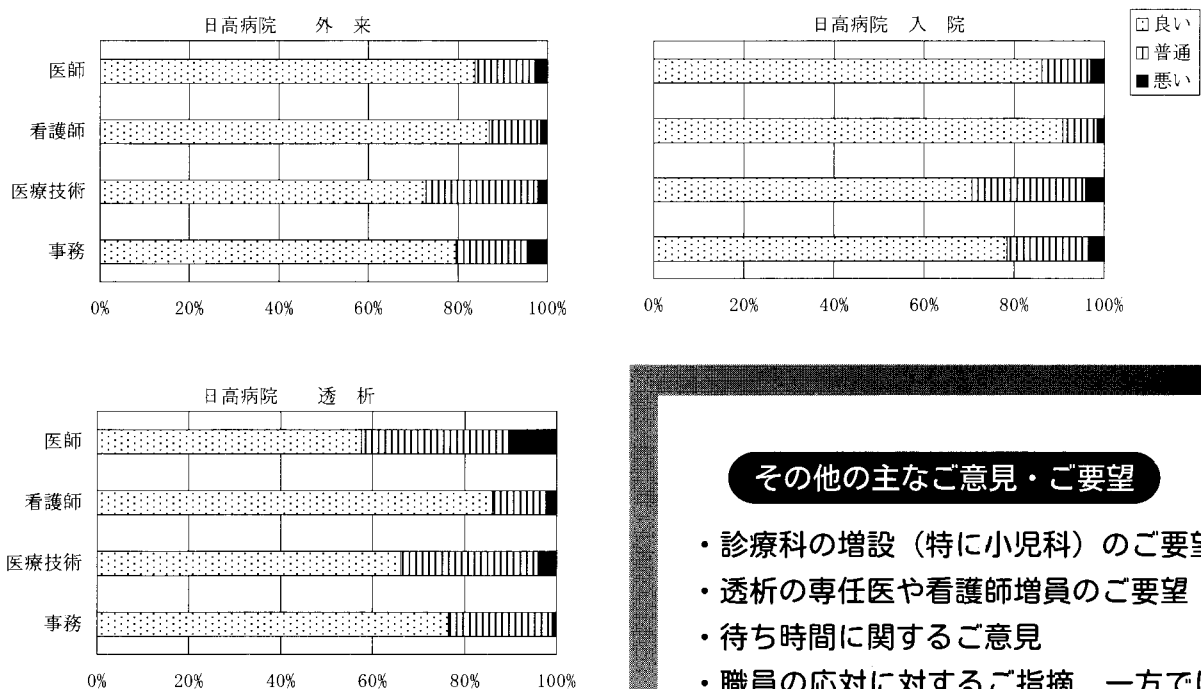
お問い合わせ

乳癌に関する診療は、各病院の外科外来を受診してください。
住民検診については、各市町の方へご照会願います。

患者さまアンケートの結果報告

日高病院では、患者さまの満足度やご意見等を把握し、より一層の医療サービスの充実を図ることを目的に、患者さまを対象としたアンケートを実施しました。その結果について、抜粋ではありますが報告いたします。

問 職員の言葉使いや態度はいかがですか？



その他の主なご意見・ご要望

- ・診療科の増設（特に小児科）のご要望
- ・透析の専任医や看護師増員のご要望
- ・待ち時間に関するご意見
- ・職員の対応に対するご指摘、一方ではお褒めの言葉をいただきました。



～ ご意見箱だより ～

患者さまからのご意見やご要望について、病院の回答・考え方を抜粋ではありますがお知らせいたします。

梁瀬病院

◎週1回の眼科診療を毎日制にしてほしい。

現在の地域医療事情では、常勤の眼科医を確保することが大変困難となっております。当院におきましても例外ではなく、常勤医師確保が困難でありますので、当面は週1回の出張診療とさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

◎高齢になると診療科が多く、薬も多種多量になるので副作用が心配です。

当院では院外処方せんを発行しています。院外処方せんは、患者さまがお好きな薬局を選択できますと同時に、患者さまに“かかりつけ薬局”をもっていただくことで、お薬の飲み合わせの確認や副作用の確認などをすることができます。もし他の院外処方せん発行医療機関で受診された場合でも、かかりつけ薬局をお持ちですと飲み合わせが確認できますので、かかりつけ薬局を持っていただくことをお勧めいたします。

和田山病院

◎受付順番について、病院に行けばすぐに取りれるようにしてほしい。せっかく早く行っても8時に機械が受付開始するまで待たねばならず、また、一時に大変混雑となります。

受付開始を早めると、早く来ることができる近くの患者さまは喜ばれるのですが、列車、バス等で遠方から通院されている方は、どんなに急いでも来院が8時頃になってしまい不満が残ります。いろいろな方々の意見を伺った結果で、今のように8時の受付開始とさせていただきますのでご理解をお願いいたします。

各病院には次のとおり「意見箱」を設置しておりますので、病院の医療サービス向上のために皆様の率直なご意見・ご要望をお聞かせくださいますようお願いいたします。

豊岡病院 外来玄関、外来待合、入院玄関、病棟ホール、精神科外来

日高病院 外来待合、各病棟内

出石病院 外来玄関・外来待合

梁瀬病院 外来玄関、病棟内

和田山病院 外来待合、各病棟内

5月12日は看護の日

～「看護の心」をみんなの心に～

豊岡病院看護部



21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要で、このことを誰でも認識するきっかけとなるように、厚生労働省は、1991年よりナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を「看護の日」に制定し、その日を含む1週間が「看護週間」となりました。

公立豊岡病院組合の看護部では、毎年「看護の日」に創意工夫を凝らした記念行事を行っています。豊岡病院では、今年も5月12日（水）に看護師会が中心になって行います。午前中は外来待合で介護用品の展示と血圧測定、体脂肪測定、健康相談、介護相談等を看護師と管理栄養士、理学療法士が行います。午後はレクセンターでコンサートの楽しいひとときを過ごしていただきます。患者さまやご家族の方とのふれあいを通して、看護すること、介護することの理解を深める機会になればと思っています。

さて、「看護の日」のメインテーマである『看護の心』は、私たち看護者に一番必要なことです。救命処置に心を奪われたり、忙しさに振り回されたりすることがありますが、どんな時でもやさしい言葉があれば、人は安心でき、元気になれると思います。やさしい言葉が自然と出てくるような、やさしい心で看護させていただくことが『看護の心』だと思います。

やさしい心は、人は生まれながらに持っている。本来、人は人にやさしくなれる。このことを昨年の看護フェアで鮮烈に体験しました。小学生を対象に「おんぶ体験」を行いました。等身大の赤ちゃんモデル人形を、おんぶ紐を使っておんぶ体験をしてもらうものです。30年程前は、子守りはおんぶに決まっていたのですが、最近は見かけない光景になっています。

男の子も女の子も誘うと素直におんぶしてくれます。子供たちは抵抗なく人形を背負います。驚いたことに、子供たちの手は、自然にさりげなく後ろに回りリズムカルに揺さぶってあやしています。背中から降ろすとしっかりと両手で抱き抱えるのです。表情は満足気です。

人は生まれながらにやさしさを持っている。それが大切な人なら、なおやさしい気持ちになれる。自然に手が差し伸べられる。身の回りの人から、ほんの少し距離を広げて、あの人にも、別のあの人にも手が届いていく、そのことを知っていただくのが「看護の日」です。

6月・7月は「さわやかあいさつ・笑顔キャンペーン」

公立豊岡病院組合では、さわやかマナー推進の強化月間として、6月・7月の2ヶ月間を「さわやかあいさつ・笑顔キャンペーン」として、受ける人の立場に立った応対（心配り、気配り）に努めてまいりますので、お気づきのことがありましたらお聞かせいただきますようお願いいたします。

骨粗鬆症には、他に原因のない原発性(げんぱつせい)骨粗鬆症と、他の病気から発生する続発性(ぞくはつせい)骨粗鬆症の2種類があります。骨粗鬆症の診断には、まず原発性か続発性か診断します。

原発性骨粗鬆症の診断

他に原因がない場合、診断には骨量の評価が必須です。

腰椎(腰の骨)、大腿骨(脚の付け根の骨)、橈骨(手首の骨)、踵骨(かかとの骨)などの骨から骨量を測定します。その値が若年成人平均値の70%未満の時、骨粗鬆症と診断されます。どの部位の骨量を測定するかは、各施設で異なります。また、測定方法も様々あり、いずれも一長一短です。得られる値も、各機械で異なりますので、骨粗鬆症の経過観察は同一施設で継続的にするのがいいと思います。地域の町ぐるみ検診などで、要精検者のうち、31.3%が骨粗鬆症と判定されると報告されているように、検診が重要な役割を果たしていることが分かります。

骨量は、現在の骨の状態を示しますが、それだけでは骨がどんどん減少しているのか、安定しているのかわかりません。そのため、骨代謝の状態を知るために骨代謝マーカーを測定します。骨代謝マーカーから次のことが分かります。

- ①薬剤選択の指針、治療効果の判定、薬剤変更などに利用される。
- ②将来の骨密度の変化の予測(尿中のI型コラーゲンの測定から、将来3年後の骨量が予測されるといわれています)

続発性骨粗鬆症の診断

ステロイド性骨粗鬆症、関節リウマチ、原発性副甲状腺機能亢進症、胃切除、肝臓・胆道疾患が原因で骨粗鬆症になる場合です。これらの疾患は、各科の疾患の合併症として、診断されますので、必要あれば各科担当医が薬を処方しています。このような疾患がある人は、骨粗鬆症に対する十分な理解が必要で、医師とよく相談されるといいと思います。

今回のまとめ

- 骨粗鬆症には2種類あります。
 - ・原発性骨粗鬆症：他に原因のない骨粗鬆症
 - ・続発性骨粗鬆症：他の原因がある骨粗鬆症
- 原発性骨粗鬆症の診断
 - ・骨量が若年成人平均値の70%未満の時。
- 続発性骨粗鬆症
 - ・ステロイド性骨粗鬆症、関節リウマチ、原発性副甲状腺機能亢進症、胃切除、肝臓・胆道疾患等が原因となります。
- 骨量の将来の把握、薬の効果の判定には、骨代謝マーカーを利用します。



新任医師紹介

(平成16年4月1日付)

『よろしく申し上げます』



豊岡病院 臨床病理科
部長 安水 良知



豊岡病院 消化器科
医長 三村 憲一



豊岡病院 心臓血管外科
医長 平野 竜史



豊岡病院 産婦人科
医長 岸 淳二



豊岡病院 歯科口腔外科
医長 安田 真也



豊岡病院 消化器科
医員 永原 天和



豊岡病院 精神科
医員 佐是 輝安



豊岡病院 産婦人科
医員 宮本 和尚



豊岡病院 外科
医員 出口 靖記

退職医師

(平成16年3月31日付)

『お世話になりました』

豊岡病院 精神科	磯邊 顕生	豊岡病院 臨床病理科	保坂 直樹
豊岡病院 産婦人科	中島 正敬	豊岡病院 心臓血管外科	馬瀬 泰美
豊岡病院 泌尿器科	寒野 徹	豊岡病院 外科	木田 睦士
豊岡病院 歯科口腔外科	金下 真士		
出石病院 整形外科	片山 繁	和田山病院 内科	大竹 真一郎

公立豊岡病院	〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 TEL0796-22-6111 E-mail : webmaster@hospital.toyooka.hyogo.jp URL : http://www.hospital.toyooka.hyogo.jp/
公立日高病院	〒669-5302 日高町岩中81番地 TEL0796-42-1611 E-mail : hidahpkn@hk.sun-ip.or.jp
公立出石病院	〒668-0263 出石町福住1300番地 TEL0796-52-2555 E-mail : izusi-hp@hk.sun-ip.or.jp URL : http://www.hk.sun-ip.or.jp/izusi-hp/index.htm
公立梁瀬病院	〒669-5197 山東町矢名瀬町900-1番地 TEL079-676-3157 E-mail : kanri@yanase-hp.com URL : http://www.yanase-hp.com/
公立和田山病院	〒669-5252 和田山町竹田2021番地 TEL079-674-2021 E-mail : hptakeda@hk.sun-ip.or.jp

新豊岡病院移転新築整備事業について

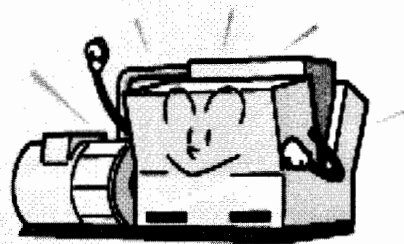
新エネルギーの導入

新豊岡病院は、新エネルギーを採用することにより、CO₂（二酸化炭素）の排出を少なくします。1つは、病院本館屋上に40kwの**太陽光発電システム**を設置します。これは、一般家庭12～13軒分の電気使用量です。CO₂の削減量は、約7,200kgで原油節約量に換算すると約9,700リットルです。

2つ目は、**天然ガスコージェネレーションシステム**（1つのエネルギーから複数のエネルギーを同時に取り出すシステム）の採用です。このシステムは、病院の建物内で、天然ガス（窒素酸化物の少ない燃料）を燃料として発電します。この電気は病院で使用します。

また、発電時に発生した熱エネルギーを利用して病院の冷暖房・給湯・蒸気などに利用することにより、発電所から送られてくる電気と比べて燃料を効率的に使用します。これによりCO₂の発生を削減します。

他に新エネルギーではありませんが、深夜電力を使っての水蓄熱（昼間の冷暖房に使用）や、屋根に降った雨水をトイレの洗浄水に利用するなど省エネに努め、地球環境にやさしい病院建物とします。



ガスコージェネレーション

日高病院

ランチタイム栄養教室のお知らせ

日高病院では、当病院で治療されている患者さまを対象として、ランチタイムを利用して昼食をとりながら、糖尿病教室、高脂血症教室を下記の日程で実施いたします。ご参加をお待ちいたしております。

糖尿病教室 5月18日（火）、6月8日（火）
高脂血症教室 5月19日（水）、6月9日（水）

時間 12時から13時 会場 日高病院栄養指導室
人数 数名（予約制） 費用 食事代実費

◎お申込み 内科外来6番（TEL42-1611 内線134）へ予約してください。

編集後記

春は、出会いと別れの季節。今号でお知らせしました医師の異動の他に、当広報誌の編集担当も交代となりました。限られた紙面の中ですが、一方通行の情報提供となっていないか、親しみやすい紙面作りとは…等、自問自答しながらの編集作業。今後とも、病院からの情報を的確にお伝えするとともに、地域の皆様からのご意見・ご要望を交えた身近な広報紙となるよう研鑽していきますので当広報紙に関するご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。（編集委員）

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 ◇TEL 0796-22-6111(内線413)
◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp